

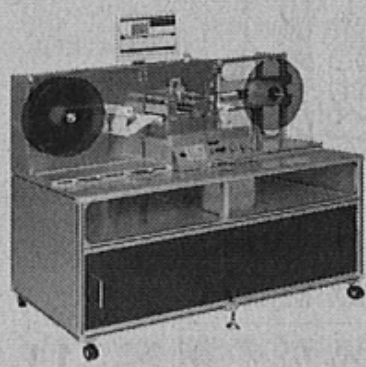
る。粗加工などの工程は100万分の1レベルより、ユーザー視点の使

印刷状態のバーコード

# 毎秒300mmで高速検査

## 山京インテックが検証機

【諏訪】山京インテック(長野県飯田市、中村拓実社長、0265・28・5000)は、ロール状に巻いたラベルに印刷してあるバーコードや文字を高速で検査するラ



ベル検証機「ALV30 01写真」を発売した。幅400mmまでのラベルを、毎秒300mmで検査できる。価格は約500万円。主に医薬、食品業界に提案し、初年度20台の受注を目指す。

ラベル搬送に関わる部分を自社開発し、高精度検査装置などと組み合わせユニット化した。あらかじめ印刷された口

ール状のラベルを検査する。またプリンターと直接つなぎ、ラベルを検査部分に送れる。検査後のラベルは巻き取り部で再度、ロール状にする。

本体は幅1180mm×高さ614mm×奥行き470mm。異常を検知した際はラベル搬送を自動停止する。張り替えなどの修正作業もできる。また顧客の要望に応じ、生産ラインに組み込む仕様にも対応する。

機能美を

求めて

18

超低圧二次  
ファイナ